

令和 4 年度 墨田区立第一寺島小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	人間尊重の精神を基盤として、心身ともに健康で、自主性、協調性、実践力に富んだ子供を育成する。○進んで学習する子○思いやりのある子○からだを大切にする子
目 指 す 学 校 像	新たなことに挑戦する生き生きとした魅力的な学校
目 指 す 子 供 像	主体的な挑戦力をもった子供
目 指 す 教 師 像	前向きで使命感に満ち生き生きとした教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	木曜日の6校時に「キャリアアップタイム」を19回実施し、算数等の基礎学力の充実を図った。学習状況調査の数値は今年も継続して上昇しており、今後も着実に指導の成果を上げていきたい。週3日の読書の時間も計画的に確保し、「読む」力等の基礎学力の習得や言語活動を充実させることができた。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	校内委員会での初動対応を迅速に行い、保護者と協議を重ね、関係機関と緊密に連携をとることができた。今後も保護者の理解を得られるよう連絡相談体制を維持していく。来年度は個別の指導計画の計画的な活用を目指す。	B	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	5年生でのお米の学校や6年生での健康教育など、各学年で地域や企業などの外部講師による体験活動を実施することができた。コロナ禍の影響で隣接中学校との交流は充分にできなかったが、高等学校との交流は一部再開できた。幼保小中連絡協議会等をいかし、この地域で連携した教育をすることができた。得意な教科をさらに深く学ぶ目的意識や意欲をもたせることが課題となる。	B	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	墨田区教育委員会研究協力校を受け、「主体的・対話的で深い学びの実現」につながる授業改善に努めることができた。低、中、高学年による3回の校内研究授業を行い、授業力向上に向けた研修に取り組んだ。また、墨田区小学校研究会で、2名が専門教科の研究授業を行ったり、東京都教師道場部員による研究成果の発表に学校全体で取り組んだりした。一人一人が児童の実態を踏まえて、「学力向上プラン」を作成する。また、校内OJTも充実させ、組織的に指導力の向上を図っていく。	A	A
	学校は、児童一人一人の個に応じた指導の充実に向け取り組んでいるか。	A	家庭学習の充実。家庭との連絡を密にとることを通し、児童自身の課題把握と課題の解決にむけて支援を行うことができた。学習支援員、スクールサポートスタッフなどの人員を配置し、個に応じた対応のさらなる充実を目指す。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で勉強は、どうしても「やらないといけない」という気持ちがあるように思う。自主学習の課題を自ら考えさせる方法はよいと思う。課題を決めるのに時間がかかる児童も中にはいると思う。</li> <li>・子どもの自立に向けた進路活動等は、学校では難しそうに感じる。</li> <li>・対策として十分であると思う。</li> <li>・今後もよい指導をお願いしたい。</li> </ul>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	<p>予防的生活指導を心掛け、「凡事徹底」と「ならぬものはならぬ」を教職員の共通理解のもとで進め、規範意識の徹底を図り積極的に児童の指導にあたった。</p> <p>週2回の夕会や生活指導連絡会で教員間の情報を共有し迅速な対応や組織的な対応をすることができた。</p>	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<p>「一寺小 A to Z」を周知し、家庭と学校が協力して、児童の指導を行う。「いつでも どこでも一寺の子」を合言葉に、自ら考えて行動する児童の育成を目指した。規範意識をもつことができ、決められたルールを守ることができる児童は多い。相手に届く挨拶、語先後礼といった自主的、実践的な行動を育てている。</p>	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<p>保護者と連携した登校班活動を維持している。</p> <p>毎月1回の安全指導や避難訓練を通し、計画的に児童の防犯意識を高めることができた。向島警察署や向島消防署と連携した不審者対応訓練や救命救急法についての研修を実施した。</p> <p>校舎内の安全点検を計画的に行い、施設面での整備に早急に取り組んできた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、町会と連携した避難訓練を実施することに課題がある。</p>	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題は大変である。今後も頑張って欲しい。</li> <li>・地域も協力していきたい。</li> <li>・下校後の安全に気配りをお願いしたい。</li> <li>・時間の使い方、物事の優先順位の判断をもう少し身に付けて欲しい。理想は「やらなければいけないこと」を先に行い、残った時間を自由に使って欲しい。</li> </ul>			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	「例年踏襲は衰退」を念頭に、新たなことに挑戦する生き生きとした魅力的な学校を目指す経営方針が浸透し、教職員は明るく、目標達成の最後まで諦めずに、創意工夫に満ちた取り組みを行っている。 ICT 機器を利用し、働き方改善の積極的な推進に取り組んできた。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	教育心理検査（アイ・チェック）や区学習状況調査、いじめアンケート等による記述式データの他、日常の聞き取りにより児童の実態把握を行う。組織的に学習指導や生活指導の見直しを進める。 PDCA サイクルを基本とし、教育目標と児童を照らし合わせ、到達度を確認している。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	「指揮官先頭」を心掛け、教育委員会庶務課と連携して、不具合の改善は「今やる、すぐやる、早くやる」で老朽化した施設・備品の更新や修繕を迅速に行った。 「備えよ 常に」の気持ちを持たせ、日常の安全点検の他、小さな異変等も情報を関係部署で共有し複数の目で確認して対応した。	A	A
	学校は服務事故未然防止に向けて、適切な取り組みができているか。	A	体罰や暴言不適切な指導の根絶を目指し、服務事故研修に計画的に取り組んでいる。一人一人の人権意識を高めると共に、風通しのよい職場環境を整え、教職員がお互いに服務事故を未然に防げる体制となっている。 文章管理を適切に行い、保管についても教職員で徹底するようにしている。	A	A
	教職員のライフワークバランスの改善はなされているか。	A	事務時間や会議時間の縮減を図り、児童と向き合う時間を確保してきた。課題に対して、校長自ら迅速な支援を行い、教職員が熱意や誇りをもって達成感のある教育実践に取り組んでいる。 校長自ら、明るい職場環境を維持し、教職員のストレスチェック数値では、「同僚と上司の支援」の項目で全国や墨田区の平均を大きく上回る結果となった。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃時等、自分の教室はきれいにする。トイレの使い方、次の人のことを考え使用するようにさせたい。</li> <li>・いつも遅くまでお疲れ様。もう少し楽になるとよいと思う。現場のことがわからないので、なんともいえないが、このような資料作成等も負担になっているのではないのか。</li> <li>・学校と保護者の協力には、先生方が夜までいてくれるのは助かるが、勤務時間を考えると、役割によって始業時間を変えるなど、改善が必要かと思う。そもそも全員同じ勤務時間という仕組みに問題があると思う。</li> </ul>			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<p>コロナウイルス感染防止対策を十分にとり、運動会や授業公開（2回）、学芸会で保護者参観の機会をとった。また、タブレット端末等を利用して、欠席児童の家には教育活動の様子を児童を通して伝えている。</p> <p>各学級で週予定表を作成し、学習内容等を</p>	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<p>「家庭学習パワーアップ週間」を年間予定に位置付け、保護者と協力して学習習慣の確立に取り組んだ。</p> <p>親子 DE 漢字検定、星の観察等、保護者や地域と連携した行事に取り組むことができた。</p> <p>「寺島なす」の栽培、お店見学等、地域の教材を生かした体験的な学習に取り組み、自分の住む地域に愛着や誇りを持たせることができた。</p> <p>メールによるアンケートや必要に応じたタブレット端末によるオンライン配信など、非接触型のツールを活用して保護者や子供との双方向の情報発信を行った。また、コロナ禍でも十分な感染対策をとり、個人面談を年間2回行った</p>	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の情報公開は十分に行われている。保護者と地域の関わりが、十分なのか疑問。でもそれは保護者が地域に関わることを必要としていないのかもしれない。個人差がある。</li> <li>今後も頑張っって欲しい。</li> </ul>			

2 令和4年度学校評価のまとめ

<p>アンケートの回収率は 84%であり、次年度は 90%以上の回収ができるよう、各家庭への一層の働きかけをする。</p> <p>「児童は楽しく学校に通っている」の項目では 93%の肯定的な評価。「学校行事について満足できる」の項目では 95%の肯定的な評価をいただいている。学校の教育目標に関する項目については肯定的な意見が多くよせられている。</p> <p>反面、挨拶に関する項目では、肯定的な意見が 78%。家庭学習の取り組みに関する項目では、肯定的な意見が 77%と、自主的な実践力に関しては学校同様に各ご家庭でも課題として捉えていることが分かる。</p> <p>国の施策により一人一台のタブレット端末が支給され、児童にとっても ICT 機器の活用が日常的になってきている。SNS 家庭ルール等各家庭での正しい ICT 機器の活用に関してやゲームやテレビの視聴時間に関しては、24%も否定的な評価をいただいております、今後の課題となっている。</p> <p>また、学校では読書週間を教育課程に位置付け、読書を推進してきているが、家庭での読書に関する項目では 49%の否定的な評価結果をいただいております、児童の本離れが進んでいることが分かる。</p> <p>これらの結果を受け、次年度も家庭と学校が連携して、児童に社会の変化に対応する力を身に付けさせることができるよう教育活動を進めていく。</p>
---

以上の通り報告いたします。

墨田区立第一寺島小学校 校長 森村 聡彦